

上田哲誠・梅林夕乃・岩崎萌森 三人展

「はん、ぷく。」開催のご案内

UEDA Tessei / UMEBAYASHI Yuno / IWASAKI Memori exhibition



【展覧会詳細】

会期 | 2022年4月16日(土)-5月1日(日)

時間 | 12:00~18:00

休廊日 | 4月21・28日(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com

このたび、ギャラリーヘプタゴンでは、上田哲誠・梅林夕乃・岩崎萌森三人展「はん、ぷく。」を開催いたします。

三名とも成安造形大学 芸術学部 芸術学科空間デザイン領域出身、(上田はプロダクトデザイン、梅林・岩崎はコスチュームデザインを専攻)の若手作家。

それぞれが衣服を出発点として「切る」「織る」「折る」といった異なる手法で、PVCシート・ステンレスメッシュ・布といった異なる素材と対峙し、従来の衣服の形にとらわれない、人が身に纏うものとしてのあり方を考えます。

上田哲誠・梅林夕乃・岩崎萌森 三人展

「はん、ぷく。」開催のご案内

UEDA Tessei / UMEBAYASHI Yuno / IWASAKI Memori exhibition

作家ステートメント

自らの手で繰り返し作業を重ねていくことを大切にしながら、制作を続けてきた三人。それぞれが衣服を出発点として「切る」「織る」「折る」といった異なる手法で作品を形作っていく。お互いに影響を及ぼしながら深みを増してきたその造形や質感から、従来の衣服の形にとらわれな
い、人が身に纏うものとしてのあり方を考える。

上田哲誠 UEDA Tessei

あるとき、何かが生まれた。

儂くもろいそれは、私の手を通じて熱を持つように。

観察、分析、実験をくりかえし、それにはやがて生命が宿る。血がめぐる。

変化を始めたそれはみるみる変わっていく。

誰がみても分かるほどに、形を現したそれを何と呼ぼうか、そんなことはどうだっていい。

大切なのは、その進化が終わらないこと。変わり続けるそれを、見守ること。

ただただ、それだけで満ちてゆく。

梅林夕乃 UMEBAYASHI Yuno

身体は動く彫刻であり、衣服とは彫刻に着せる彫刻である。衣服は人が動くことによりその表情を変化させる。人が動けば衣服の形状は変化する。衣服というモノを自立し存在させることで人が動いた痕跡を残す。

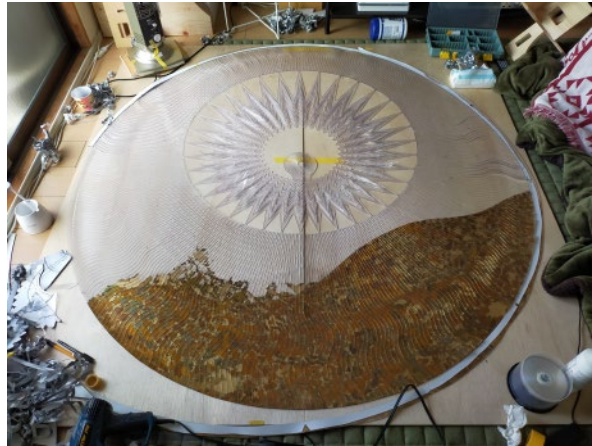
「折り」人が生活する中で使われる身近な技法。折りにより平面的なものから立体的、抽象的なものから具象的な様々な形状に変化する。私は、金属を折ることで身体の柔らかさや硬さといった動きの美しさを造形する。

岩崎萌森 IWASAKI Memori

「織ること」「編むこと」「結ぶこと」

一つ一つの単純な構造が次々と繋がっていき、連続することで生まれる形に美しさを感じる。

「織編結」シリーズでは、技法そのものが持つ連続する美しさに焦点をあて、その構造的な魅力を露わにさせた染織・服飾作品を制作している。近年は、自ら杵機を制作するところから取り組み、六角形の杵機による新たな織物のかたちを模索している。



上田哲誠
「774Creatures」PVC をカット 1800×1800×2mm / 2019



上田哲誠
「774ligh」PVC をカット 300×300×1mm / 2019

上田哲誠 プロフィール

1997 石川県生まれ

2019 成安造形大学 芸術学部 芸術学科空間デザイン領域 プロダクトデザインコース 卒業

【グループ展】

2020 「世界で一枚のシャツ展」 ギャラリーサラ(滋賀)



梅林夕乃
「内臓」
ステンレスメッシュを折る
サイズ可変 / 2020



梅林夕乃
「建築と衣服」 ステンレスネットを折る、燃やす/他ボルト・ナット サイズ900×900×900mm / 2019

梅林夕乃 プロフィール

1997 愛知県生まれ

2020 成安造形大学 芸術学部 芸術学科空間デザイン領域 コスチュームデザインコース卒業

【個展】

2020 「内臓」 /Art Spot Korin(京都)

【グループ展】

2021 「SEIAN ARTS ATTENTION 14 Re:Home」/成安造形大学【キャンパスが美術館】(滋賀)

2021 「世界で一枚のシャツ展」/ギャラリーサラ (滋賀)

2020 「成安造形大学卒業制作展」/京都文化博物館 (京都)

2019 「対比する造形」二人展/成安造形大学【キャンパスが美術館】(滋賀)

2017 「対話」/成安造形大学(滋賀)

2016 「ヤミナベ展」/イロリムラ(大阪)



GALLERY HEPTAGON
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release
2022.3/16



岩崎萌森
「原初の衣」
素材：ポリエステル、麻
2000×1500×150mm
2019



岩崎萌森
「織編結 反と角」
ポリエステル、麻 580×600×500mm(ボディ着用時) / 2021



岩崎萌森
「織編結 人々と布の交わりについて」
ポリエステル、麻 3000×580×3000mm / 2021

岩崎萌森 プロフィール

1999 愛知県生まれ

2021 成安造形大学 芸術学部 芸術学科空間デザイン領域 コスチュームデザインコース 卒業

【個展】

2021 「織 編 結 反と角」KUNSTARZT (京都)

2020 「織 編 結 制限と可能性」ArtSpotKorin (京都)

【グループ展】

2021 「SEIAN ARTS ATTENTION 14 Re:Home」成安造形大学【キャンパスが美術館】(滋賀)

2021 「SELECTION卒業制作展2021」成安造形大学【キャンパスが美術館】(滋賀)

2021 「成安造形大学卒業制作展」京都市京セラ美術館 (京都)

2020 「世界で一枚のシャツ展」ギャラリーサラ (滋賀)

2019 「NIF YOUNG・TEXTILE展」東京国際展示場JAPANTEX内 (東京)

【主な受賞歴】

2021 「毎日・DAS学生デザイン賞」入選

2021 「成安造形大学卒業制作展」優秀賞

2020 「毎日・DAS学生デザイン賞」入選